

参加申し込み要項

- 参加費
 ◇基本登録料（論文報告集含む）
 一般 5,000円
 ITCN会員 4,500円
 ◇学生2日券（論文報告集含む） 3,000円
 ◇学生1日券（論文報告集を含まない） 1,000円
 ◇レセプション参加費 5,000円
- ※理由の如何を問わず、お支払いの参加費は返却できませんのでご了承ください。
 ※論文報告集のみの購入 3,000円
- 申し込み方法
 ◇同封の参加申込用紙に必要事項を全てご記入の上、郵便・FAXにて事務局までご送付ください。
 ◇用紙が不足の場合はコピーしてお使いください。
- 参加費のお支払いについて
 ◇下記銀行口座に必要な金額をお早めにご入金ください。
 ◇参加登録申込書と振替用紙の氏名（団体名）は必ず同一で記入してください。
 ◇申込書1枚につき、振替用紙1枚をご使用ください。
 ◇振込先
三菱東京UFJ銀行 名古屋営業部 普通 0164607
口座名 世界劇場会議国際フォーラム2010 事務局次長 竹内洋江
- ※上記注意事項は必ずお守りください。

- 参加登録締切
 ◇2010年1月26日（火）
- ※各セッションの定員に満たない場合は、当日の登録もお受けいたしません。
- 参加登録証・レセプション参加券と領収証の発行
 ◇参加費の入金確認後、事務局より参加登録番号をe-mailまたはFAXにてご連絡いたします。登録番号は当日の参加登録証との引き換えに必要となりますので印刷するかメモして大切に保管してください。
 ※2010年2月2日までに上記書類が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

◇（社）日本建築家協会（JIA）のCPD認定プログラムとして登録予定です。単位取得をご希望の方は、お申込の際にJIA会員である旨チェックし、一級建築士登録番号をお書きください。また、当日会場にて出席の確認をさせていただきます。

事務局「世界劇場会議 国際フォーラム2010」実行委員会
 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-14-12
 グランビル2B
 特定非営利活動法人世界劇場会議名古屋内
 TEL&FAX 052-232-2271
 E-mail f01@itc-nagoya.com
 HP http://www.itc-nagoya.com

実行委員会

大会委員長 藤井知昭 顧問 島田章三 池田善次 大野重忠 伊豫田静弘 大脇 明 清水裕之	[愛知芸術文化協会理事長/総合研究大学院大学名誉教授] [愛知芸術文化センター総長] [財愛知県文化振興事業団理事長] [財名古屋市文化振興事業団理事長] [演出家] [プロデューサー/㈱テレビシティ代表取締役] [名古屋大学大学院環境学研究科教授]	佐久間広一郎 櫻場敬信 佐々俊彦 高木正博 高橋健二郎 竹内洋江 竹本義明 西澤康夫 藤井 克 二村利之 細井昭男 右田研介 水野誠子 南 隆太 宮田 健 村松茂樹 初山勝人 山口清司 山口 滋 山田 純 山出文男 渡邊孝晴	[㈱OFFICE516代表取締役] [NPO法人武豊文化創造協会理事長] [財名古屋市文化振興事業団文化事業部長] [NPO法人武豊文化創造協会理事] [三精輸送機㈱名古屋営業所所長] [NPO法人名古屋おやこセンター理事長] [名古屋芸術大学音楽学部教授/武豊町民会館館長] [平成医療短期大学教授] [長円寺会館/グリーン・エコー] [七ツ寺共同スタジオ代表] [㈱都市造形研究所] [㈱若尾綜合舞台ホールサービス部長] [劇団きまぐれ代表] [愛知教育大学教授] [財名古屋市文化振興事業団総務部主幹] [愛知芸術文化センター管理部施設課長] [長久手町文化の家事業係長] [㈱若尾綜合舞台取締役] [㈱松村電機製作所中部支店支店長] [名古屋芸術大学音楽学部音楽文化創造学科教授] [㈱シーエスエス総合舞台常務取締役] [㈱ヤマハミュージック東海名古屋店店長]	■事務局長 右田研介 ■事務局次長 竹内洋江・山田 純 ■事務局員 犬飼利枝・小山陽子
実行委員長 下斗米隆	[NPO法人世界劇場会議名古屋理事長/㈱エフ・ジー・ジー代表取締役]			
副実行委員長 衛 紀生 川本直義	[可児市文化創造センター館長兼劇場総監督] [㈱エルイー創造研究所取締役/㈱伊藤建築設計事務所理事]			
実行委員 岩室秀典 上田信子 片山一宮 門原 頌 熊崎雅芳 小池一二三 小西邦夫 小林かおり 畔柳千尋	[三菱UFJリサーチ&コンサルティング主任研究員] [財愛知県文化振興事業団事業課長] [ヤマハサウンドシステム㈱名古屋営業所所長] [ヤマハサウンドテック㈱元役員] [モーツァルト200メモリアル主宰] [愛知芸術文化センター愛知県文化情報センター所長] [㈱三光代表取締役社長] [同朋大学文学部教授] [西尾市教育委員会事務局文化振興課]			

2010年秋 開催決定！

中国伝統演劇とイギリス古典文学の融合・日本古典音楽とモダンバレエのインプロヴィゼーション

2010年11月26日（金）名古屋能楽堂

世界劇場会議国際フォーラム2009の講師として来日した中国川劇女優の田蔓莎がシェイクスピア作品「マクベス」を「マクベス夫人」として書き下ろし、中国伝統演劇の手法を用いて東西の古典の融合に挑戦します。

また能楽笛方藤田六郎兵衛とバレエ演出家深川秀夫が「三番叢」をモチーフにした古典とモダンのインプロヴィゼーションにもご期待ください。

田 蔓莎 プロフィール

上海戯劇学院副院長
川劇女優・演出家

四川の歌劇である川劇の第一人者として、四川歌劇の伝統を守りながら、その現代化を実験的に行っている。国内のみならずドイツ・ヨーロッパ・アジア諸国など海外での活躍も多く、伝統的な作品の上演と新しい作品の上演で知られる。上演作品には“The Ripples of the Stagnant Water”, “Wu Song Killing Brother’s Wife”, “Lady Macbeth”, “Yin Yang River”などがあり、国内外で数多くの演劇賞を受賞している。



主催：NPO法人世界劇場会議名古屋
世界劇場会議国際交流イベント
実行委員会



世界劇場会議 国際フォーラム2010 International Theatre Conference Forum 2010

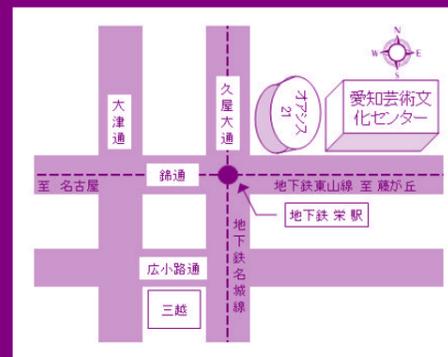
がんばれ劇場！
～すべての人々が輝くために～

Take me out to the Theatre!

～ For the Brightest Moment of Your Life ～

2010年2月12日(金)～13日(土)
愛知芸術文化センター
12階アートスペース

12 (Fri.) - 13 (Sat.) February, 2010
Aichi Arts Centre, Nagoya, Japan



■アクセス：名古屋市中区東横一丁目13番12号
TEL (052) 971-5511 (代表)
名古屋駅から地下鉄東山線「栄駅」下車徒歩2分

- 主催：「世界劇場会議国際フォーラム2010」実行委員会
- 主催構成団体：愛知県/名古屋市/（財）愛知県文化振興事業団/（財）名古屋市文化振興事業団/NPO法人世界劇場会議名古屋
- 後援：文化庁/（財）地域創造/（社）日本芸能実演家団体協議会/（社）企業メセナ協議会/（社）全国公立文化施設協会/（社）劇場演出空間技術協会/文化経済学会<日本>/日本NPO学会/日本アートマネジメント学会/日本音楽芸術マネジメント学会/日本文化政策学会/（財）舞台芸術財団演劇人会議/愛知県教育委員会/名古屋市教育委員会/愛知芸術文化協会/名古屋ホール運営協議会/愛知県舞台運営事業協同組合/（社）日本建築家協会東海支部/NPO法人名古屋おやこセンター
- 協力：愛知㈱/愛知県舞台運営事業協同組合/㈱伊藤建築設計事務所/ウシオライティング㈱/㈱エルイー創造研究所/カヤシステムマシンリー㈱/喜喜怪会/㈱コトフキ/㈱三光/三精輸送機㈱/㈱シーエスエス総合舞台/中部日本放送㈱/東海テレビ放送㈱/㈱東畑建築事務所/㈱都市造形研究所/パナソニック電工㈱/㈱松村電機製作所/丸茂電機㈱/森平舞台機構㈱/ヤマハサウンドシステム㈱/㈱若尾綜合舞台



世界劇場会議 国際フォーラム2010

International Theatre Conference Forum 2010

ご挨拶
「世界劇場会議国際フォーラム2010」
実行委員長
下斗米 隆

今年の「世界劇場会議 国際フォーラム2010」は、各地でいまがんばっている劇場の特集としました。ともすれば暗い話題の多いいまの時代に、さまざまに創意と工夫を重ねて元気に活動を続けている話題の劇場にスポットを当て、その元気の源を探り、次の展開への足がかりを皆さまと共に考えていきます。多くの皆さまの参加と活発な議論を心からお待ちしています。

Session Program

Welcome and Introduction：開会式 2月12日(金)13:00

12F アートスペースA
Venue: Art Space A, 12F

Keynote Speech：基調講演 2月12日(金)13:30

12F アートスペースA
Venue: Art Space A, 12F

基調講演 - 1 **がんばれ劇場！** 運営・企画について 佐藤 信

基調講演 - 2 **がんばれ劇場！** 建築について 伊東豊雄

The Koenji Session-1：座・高円寺 伊東豊雄・佐藤信が名古屋で語る 2月12日(金)15:30

12F アートスペースA
Venue: Art Space A, 12F

The Koenji Theatre (Tokyo) and the Future of Public Halls in Japan

今、最先端の『がんばる劇場』座・高円寺（杉並区立杉並芸術会館）を語る。

新しい公共劇場をめざし「元氣と文化が生まれる街」東京都杉並区高円寺に2009年5月1日にオープンした「座・高円寺(杉並区立杉並芸術会館)」が今、注目を集めている。

伊東豊雄氏設計の劇場に佐藤信氏の芸術監督、指定管理者としてNPO法人劇場創造ネットワーク 斎藤憐館長の組み合わせで、舞台芸術の創造と発信が始まった。

地域に根ざした文化活動の拠点として、様々な仕掛け『可変する小劇場・使いやすい区民ホール・阿波おどりホール・作品創造支援諸室・カフェ・さざんかねっと・なみちけ・主催公演提携公演・劇場創造アカデミー・高円寺阿波おどり』を駆使し、『がんばる劇場』座・高円寺から21世紀の地域公共ホールのあるべき姿を考える。

Session-2：劇場をめぐる環境 2月13日(土)10:00

12F アートスペースA
Venue: Art Space A, 12F

Influences of Legal Environments on Theatre and Theatrical Works

劇場をめぐる法的環境整備の可能性を探る。

経済状況の悪化が続き2001年をピークに我国の劇場鑑賞数は激減し、公共ホールの自主事業実施館数や事業費も減少の一途をたどっている。このような社会情勢の中、本年4月に日本芸能実演家団体協議会は「社会の活力と創造的な発展をつくりだす劇場法(仮称)」を文化庁に提言した。

公共劇場への支援を契機に国民の芸術鑑賞の飛躍的な拡大をめざし全国的な規模で研究・創造・鑑賞・参加の拠点としての専門家が配置された劇場・音楽堂等を創り上げる戦略的政策の構築を求めている。

2007年には劇場等演出空間運用基準協議会が設立され、全ての演出空間での自由な創造と作業の安全を確保する共通のルール作りが不可欠だという認識から、本年4月に「劇場等演出空間の運用および安全に対するガイドライン」が発行された。しかし、我国の現状は、演出空間という「場」の規定もなく、劇場という創造のための機関への支援もない。

このセッションでは、既に劇場に対する法整備を持つフランスやイタリアの劇場政策・法制から学び、我国の「劇場法(仮称)」制定への現実的な課題と対応を討議する。

Session-3：市民目線の劇場運営 2月13日(土)10:00

12F アートスペースG
Venue: Art Space G, 12F

Theatre Management for Local Community

市民（住民）目線の劇場はココだ！

劇場は、管理・制作・技術が三位一体化され市民目線で運営がなされているのが本来の姿ではないだろうか。直営、指定管理、民間などさまざまな運営体系を持つ日本の劇場の中で利用者（使用者）あるいは観客としての市民は、劇場に一体何を求めているのであろうか。また、運営者側は利用者あるいは観客としての市民に、どのようにアプローチしていけばよいのか。

市民の応援で劇場を管理運営している劇場にスポットを当て、劇場運営から地域発信まで、地域住民の心によりそった様々な工夫や発想を検証しながら、劇場が地域に受け入れられ、地域文化の核となっていくためには何が必要なのかを、「市民の目」をキーワードに読み解いていく。

講師
伊東豊雄 伊東豊雄建築設計事務所代表
佐藤 信 座・高円寺芸術監督

コーディネーター
清水裕之 NPO法人世界劇場会議名古屋参与
名古屋大学大学院環境学研究科教授

講師
Xavier Greffe パリ第一大学 (パリオ・リカ) 教授
根木 昭 東京藝術大学教授
大月 淳 名古屋大学大学院環境学研究科助教
角 美弥子 政策研究大学院大学研究助手
山出 文男 愛知県舞台運営事業協同組合

コーディネーター
垣内 恵美子 政策研究大学院大学教授

講師
水戸雅彦 仙南芸術文化センター所長
菱川浩二 多治見市文化会館統括責任者
漢 幸雄 あさひサンライズホール主幹

コーディネーター
山田 純 名古屋芸術大学教授

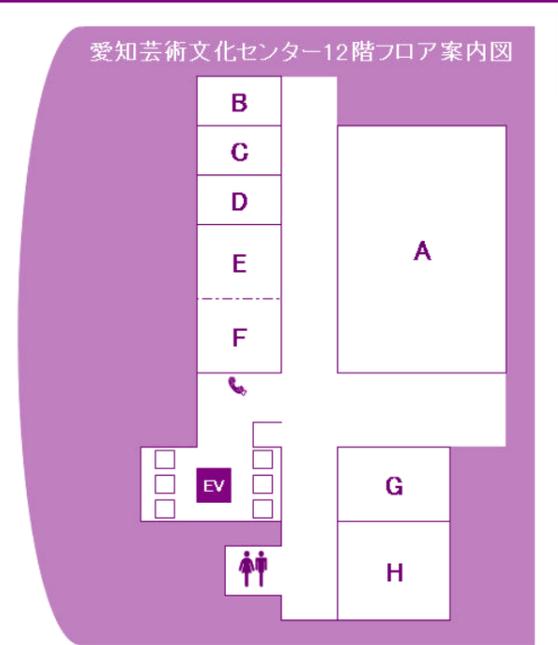
がんばれ劇場！

～ すべての人々が輝くために ～

セッション案内

※右側のフロア案内図と併せてご確認ください。

日 程	時間	プログラム	会 場
2月12日(金)	13:30～15:15	基調講演 - 1 & 2	アートスペースA
	15:30～17:30	第1セッション	アートスペースA
	19:00～21:00	レセプション	名古屋国際ホテル
2月13日(土)	10:00～14:45	第2セッション	アートスペースA
	10:00～14:45	第3セッション	アートスペースG
	10:00～14:45	第4セッション	アートスペースH
	15:00～17:00	第5セッション	アートスペースA
	17:10～17:50	総括セッション	アートスペースA
2月12～13日開催時間中		情報交流サロン	アートスペースE・F



Session-4：学生セッション 2月13日(土)10:00

12F アートスペースH
Venue: Art Space H, 12F

Arts Management Students' Roundtable on Theatre and University

発表予定大学

東京藝術大学
静岡文化芸術大学
名古屋芸術大学
京都橋大学
他

進行役

小暮宣雄 京都橋大学教授

未来の芸術文化の発展を担う学生たちへ

今日、芸術文化をとりまく環境は、景気後退による財政難や指定管理者制度の導入など転換期を迎えている。このような中で、地域との連携を基軸として、戦略的に振興していくことのできる人材育成はさらに必要度が増している。芸術文化を支える人材に地域とのコミュニケーション力が求められる現在、大学時代の経験は、アートマネージャーとして活躍する将来、貴重な財産となるであろう。このセッションでは、大学でアートマネジメントを学ぶ学生自らが、「まち(劇場)と大学」がどのように連携しているか事例紹介を行うとともに、大学における「アートマネジメント教育」を再検討し、全国規模での学生の意見交換の場とする。

Session-5：演劇にとって国際交流とは何か？ 2月13日(土)15:00

12F アートスペースA
Venue: Art Space A, 12F

Promoting/Presenting Intercultural Collaboration as a Theatrical Event

講師

畠 由紀 国際交流基金文化事業部舞台芸術
チーム
宮城 聡 静岡舞台芸術センター芸術総監督
辺 発吉 中国呉橋国際雑技大会実行委員会
事務局長

中国人民政治協商会議全国委員會員

コーディネーター

南 隆太 愛知教育大学教授

他者と出会う場としての劇場の可能性をめぐって

劇場という場、演劇という芸術形式は、21世紀において、異文化との交流・協働にどのようにかかわり、またどのようなことができるのだろうか。海外から優れた舞台を輸入し、開催地域の住民が受動的に鑑賞するという一方的な「出会い」を喧伝する、あるいはその演目を目当てにした国内外からの観客のみならず経済効果を期待するような浅薄な国際芸術祭は未だに多くあるが、それでは創造的出会いの場としての劇場の可能性は見えてこないだろう。経済産業の分野でグローバル化が声高に叫ばれて久しい今日、地域を越え、文化を越えて創造的な出会いを演出するイベントとしての演劇、あるいは他者との邂逅を創出する空間としての劇場はどうあるべきなのだろうか。舞台芸術を通して、アジアの人々との新たな関係を築き、新しい作品を創り出す現場に関わる方々を招き、いま劇場にできることを考えてみよう。

Closing：閉会式 2月13日(土)18:00

情報交流サロン：12～13日 12F アートスペースEF
Venue: Art Space EF, 12F

12日12:30～18:30 12F アートスペース E & F
13日 9:30～17:00

全国の劇場・芸術団体の交流の場としてお気軽にお立ち寄りください。関連書籍の販売やチラシ・パンフレット等を展示しています。

熱い熱い議論の合い間に
一杯のコーヒーと新しい出会いはいかがですか？

レセプション：12日19:00～21:00

名古屋国際ホテル
Venue: International Hotel Nagoya

フォーラムに参加された皆さんが、「劇場」をキーワードに様々な意見や情報を交換する場として多くの方々の参加をお待ちしております。

会場：名古屋国際ホテル
2階宴会場
TEL 052-961-3111
愛知芸術文化センターより徒歩5分

